

# 指導の実際

## 〔授業展開案5〕「描写に注意して読もう」

( 検証授業... 5 / 8 時 )

### 読むこと

#### 1 単元の指導の実際と手立ての検証 ( )

#### 見通しをもつ場面

〔具体的手立て〕  
事前アンケート  
導入の工夫  
学習計画表

「学習計画表」 赤枠に学習活動を示した。

新学習指導要領の指導事項に準拠し、文学的な文章の学習で身に付けさせたい知識・技能を中心に10項目に絞ってアンケートを作成し、実施した。

アンケートの項目から、生徒は今回の単元で身に付けるべき知識・技能をイメージすることができていた。

太宰治の他の作品の冒頭を用いて表現の特徴について考えさせたり、太宰治検定を行って作者への興味関心をもたせたりして、作品をより深く読もうという意識をもたせるようにした。

表現の特徴に注目して読むことや、作者に対する興味・関心をもって読むことを意識させたことで、単元終了後の読書につながる見通しをもつことができていた。

学習計画表で学習活動の流れを確認し、学習計画を理解させた。

単元を通じて、どんな目標をもって、いつどんな学習活動をするのかを理解することで、生徒の学習に対する不安感は和らいだようだった。具体的な活動の見通しを示すこともできた。

#### 身に付ける場面

〔具体的手立て〕  
スモールステップによる学習活動  
言語活動  
教材等の工夫

#### 自分の気付き

- ・文末が常体で終わっている。
- ・長い文と短い文との差がある。
- ・自分で自分に言い聞かせるように表現している。
- ・比喩法が使われている。



#### 自分の考えをまとめる

- ・友達の意見を聞いて、常体が使われていて文が短いところは、展開が速く感じる事が分かった。
- ・メロスが悩んだり考えたりにしているところは、文が長くなっている事が分かった。

#### 意見交流



「自分の考えをまとめるための学習活動」  
まず、内容や表現の仕方について自分の気付きをまとめ、グループで意見交流をして考えを深めた。

「走れメロス」の空白部分の創作を行うまでの活動を細分化し、スモールステップによる学習活動を行えるようにした。

あらすじを時系列でまとめる。描写に注目するために表現の特徴についてグループで意見の交流をする。根拠にする描写から創作の構想を練る。という段階を踏ませたことで、生徒は、物語をより深く読もうという意識をもって学習活動に取り組むことができていた。

#### 位置付けた言語活動

#### 「C読むこと」(2)ア

#### 〔感想を交流する〕

描写や登場人物の人物像についての感想を交流するために、「走れメロス」の文章中の描写を根拠とし、表現の特徴を取り入れて物語の空白部分を創作する。

位置付けた言語活動は、描写に注目して表現の仕方や登場人物の心情により深く迫らせるためには有効な活動だった。



「学習プリント」 表現の工夫を確認させた。

スモールステップによる学習活動に合わせて、ワークシートや補助資料、学習の手引き、学習プリントを適宜用いた。

ワークシートを用いた学習に慣れてきた生徒の中には、補助資料や学習の手引き等を、自分の必要に応じて選択することができた生徒もいた。何に気を付けて創作をすればよいかを確認するのに、補助資料や学習の手引き等が有効だった。

学習プリントや学習の手引きを提示することで、生徒は常時それを手元に置いて必要なときに利用することができていた。学習プリント「表現の工夫をとらえる」を家庭学習用の予習プリントとして利用したが、授業の前に主な表現技法や表現の工夫について確認する際にも利用することができたため、話し合いがスムーズに進み、「走れメロス」の表現の特徴について、具体的な気付きを出し合うことができていた。



「学習の手引き」 表現の工夫を確認させた

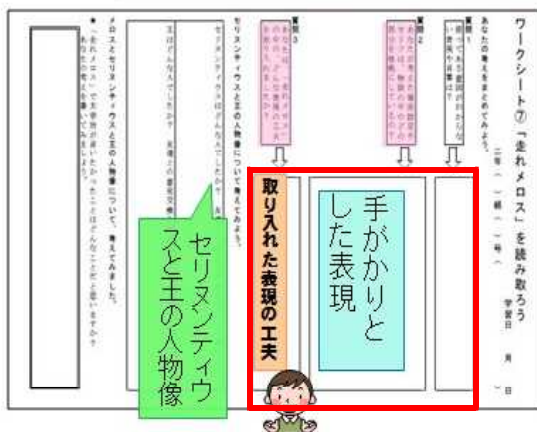


振り返る場面

- 〔具体的手立て〕
- 交流
- 学習計画表
- 事後アンケート

振り返る

描写などについて考え、その意図に迫る



「ワークシート」 赤枠で自分の考えをまとめてから相互評価を行なった。

自分が根拠とした描写や利用した表現の特徴についてまとめてから、書き上げた作品をお互いに読み合わせ、意見交流を基に相互評価に臨ませるようにした。

ワークシートを活用することで、お互いの作品についてただ感想を述べ合うだけでなく、「走れメロス」の表現の工夫や描写の意図に迫る意見の交流ができていた。

学習計画表の振り返りの欄に、活動の自己評価と反省を記入させた。

生徒は、以前の単元よりもより具体的に身に付けた知識・技能について書くことができるようになった。

事前アンケートと同じ項目で事後アンケートを実施した。

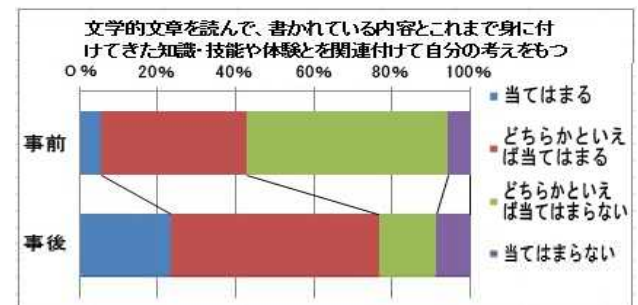
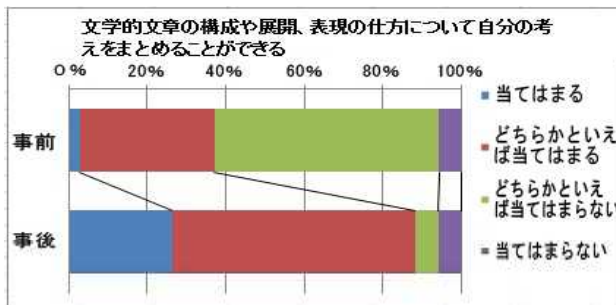
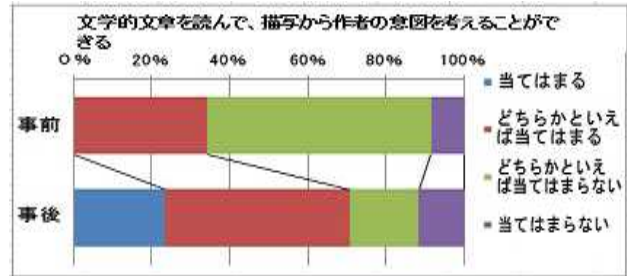
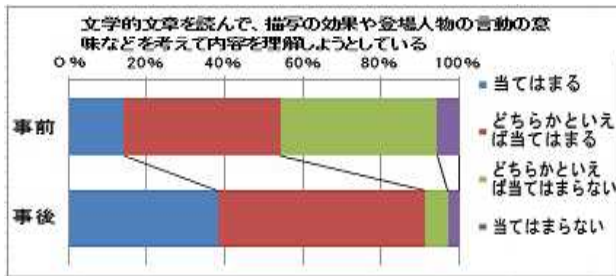
生徒は、今回の単元で身に付けるべき知識・技能について、活動と結び付けて確認することができた。

## 2 生徒の変容

### (1) アンケート結果より

「読むこと」について

- すべての項目で、事前よりも事後の方が「～することができる(分かる)」と答える生徒の割合が増えている。本単元のねらいにつながる項目についての変容は以下のとおりである。(上のグラフが事前、下のグラフが事後のアンケートの集計結果を示している。)

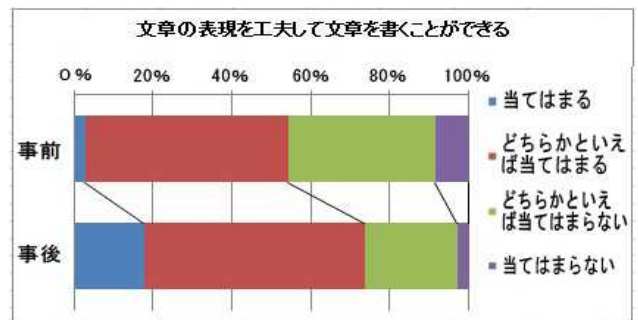
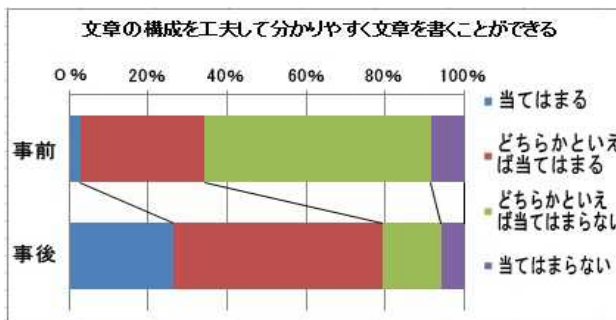
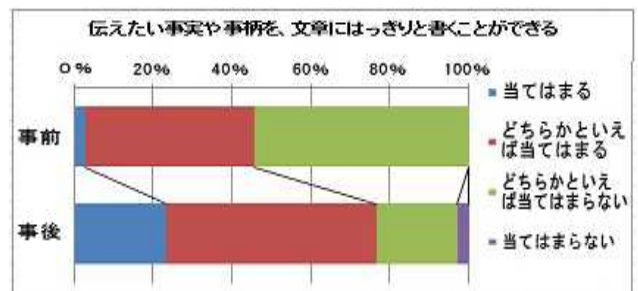
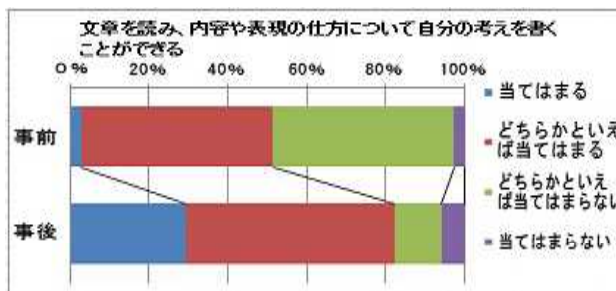


#### [考察]

- アンケート結果から、文学的文章の構成や展開、表現の仕方について自分の考えをまとめる力や、描写に注目して登場人物の心情を読み取る力等、単元のねらいにつながる項目について意識化できた生徒がかなりの割合で増えたことが分かる。本単元の学習において、生徒が作者の表現の仕方や登場人物の心情を読み取るためには、どのような知識・技能を使ってどう読めばよいのかを理解して学習を終えたことがうかがわれる。

「書くこと」について

- 「書くこと」の指導事項についても、言語活動を通して身に付くことが期待される項目についてはアンケートを実施した。本単元のねらいにつながる項目についての変容は以下のとおりである。



#### [考察]

- 言語活動を通して、本単元のねらいとかかわりの深い文章の表現の工夫といった「読むこと」とかかわりの深い知識・技能が意識化されたことが分かる。このことから、「読むこと」と「書くこと」を相互に作用させながら、知識・技能の習得と活用を図る手立てとして本単元に位置付けた言語活動は、有効であったといえる。



(2) 生徒の感想より(抜粋)

[読むこと]

- ・読んでいくうちに、太宰治の表現の仕方を理解することができた。特に空白部分を自分で考えて書くことは楽しくてためになった。この学習で太宰治に興味をもった。
- ・「走れメロス」について知ることができたので太宰治の他の作品も読んでみたいと思った。
- ・表現の特徴について勉強したので、いろいろな場面を想像しながら読むことができるようになった。メロスの人物像がよく分かってよかった。
- ・比喩法などの表現技法や文体の工夫などがたくさんあって読んでいて楽しかった。

[書くこと]

- ・伝えたいことなどを文章にしてはっきり書けるようになったと思った。
- ・最初はあまり理解できなかったけれど、最後には登場人物の気持ちになって書くことができるようになったと思う。
- ・内容や表現の仕方について自分の考えをまとめることができた。
- ・自分で想像して物語の途中を作るとは思わなかった。でもこの学習をすることによって考える力が付いたと思う。

(3) 生徒作品より

この単元に入る前までは、伝えたい事柄をはっきりと書いたり、表現の工夫をして書いたりすることができなかつた生徒だが、書く分量も増え、「走れメロス」の表現の工夫を生かして、根拠を基に書くことができている。「走れメロス」で読み取った表現の工夫を利用して、根拠となる情報を踏まえた上で書いており、「読むこと」の知識・技能の定着がうかがわれる。

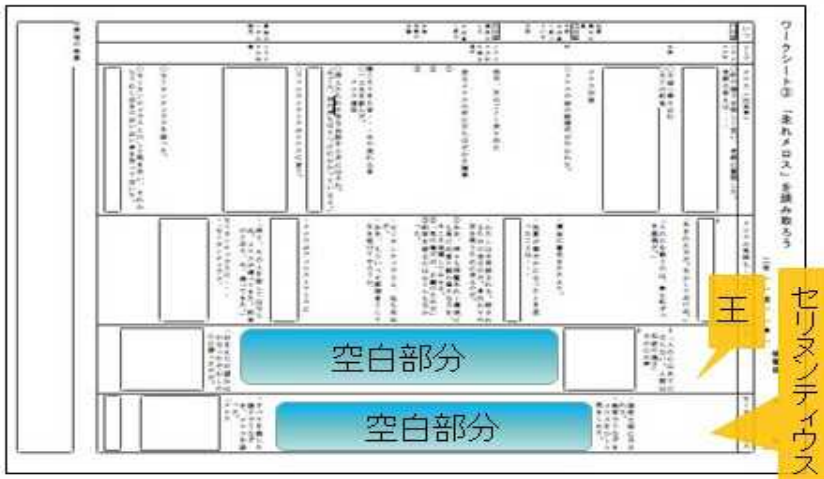
3 指導者の考察

- ・「見通す」段階で、太宰治検定をさせたり、太宰治の他の作品を表現の特徴に注目させて読ませたりすることで、生徒は「走れメロス」以外の作品にも興味をもつことができていた。生徒の感想にも「他の作品も読み深めたい。」という記述があり、単元のねらいにつながる導入の手立てとして有効だったと思う。
- ・スモールステップによる学習活動を取り入れたことで、生徒の活動はスムーズになったが、それでも生徒が作業に戸惑う部分があったので、さらに活動の見直しが必要だと感じた。例えば、文章中の描写を根拠にして主な台詞を考える活動には、事前にモデル学習をするなどの手立てをとると、生徒はもっと自信をもって表現することができたのではないだろうか。
- ・あらすじをまとめ、空白部分に気付かせる授業では、時系列にまとめるワークシートにあらすじを整理させたことで、空白部分が一目で分かり、生徒にとって分かりやすかった。
- ・生徒作品を一冊にまとめて紹介したが、製本したりすると、さらに次につながる意欲を喚起できたのではないかと思う。

〔スモールステップによる学習活動とワークシートの活用〕  
 学習活動を細分化し、その活動に対応したワークシートを作成して活用した。何のためにどのような活動をするのか、生徒に自覚させることができ、有効だった。

あらすじをまとめ、作品の空白部分に気付く

ステップ1



ステップ1

- ・あらすじをまとめ、作品の空白部分に気付く。



表現の特徴や工夫について考え、意見を交流する

意見交流

ステップ2



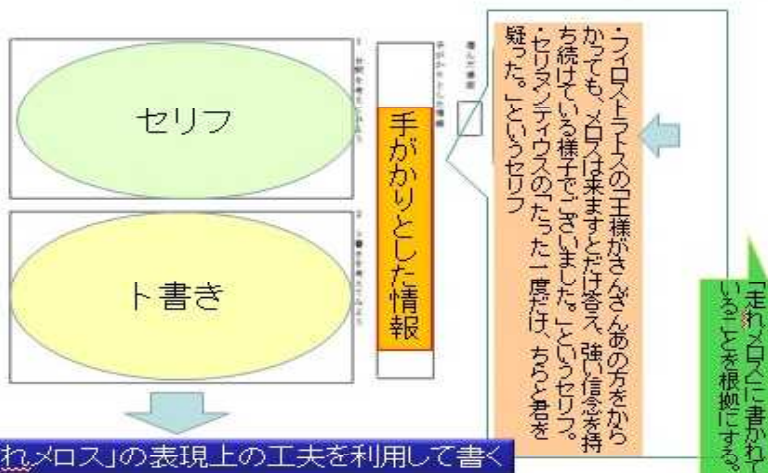
ステップ2 「意見交流」

- ・表現の特徴や工夫について自分の考えをもつ。



描写の効果や登場人物の言動の意味を考える

ステップ3



ステップ3

- ・根拠にする描写から創作の構想を練る。

「走れメロス」の表現上の工夫を利用して書く

「走れメロス」に書かれていたことを根拠にする。